

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	34-4
PDCA	主要事業名	旧中埜家住宅保存活用事業	部課名	教育部博物館	担当	榑原	
					内線	23-7173	

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策：文化の振興と継承								
	全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 497 千円								
	会計 一般会計 歳出科目 09.05.01.04.53								
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 500 千円								
	事業概要等	事業概要： 重要文化財旧中埜家住宅の後世への継承という大きな目的を達成するため、「保存」及びさらなる「活用」に必要な整備や修理を行います。							
		事業目的： 旧中埜家住宅の保存活用に必要な整備や修理を行い、後世への継承という大きな目的の達成に寄与します。							
		事業内容： 令和3年度は、外観活用のための展示等製作を行います。							
		問題点・課題等： 様々な制約により、多人数の受入や、長期間の公開が困難であり公開時期も限られますが、地域住民や子どもたちに対して、認知度や関心を高める必要があります。							
	予算額	主要事業とする理由							
	497 千円	旧中埜家住宅は貴重な国民的財産であり、半田の文化財を象徴する建物です。本事業はこの建物のさらなる保存活用を行ううえで必要となる整備や修理を行うもので、本市の文化財保護事業における主要事業であるためです。							
財源内訳	得られる成果								
市費	重要文化財である旧中埜家住宅の後世への保存継承が図られるとともに、市民の文化財保護意識の向上、地域文化の振興及びまちへの関心向上に寄与します。								
497 千円	目標値や目指すべき状態								
国費					令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	
0 千円	展示製作委託の進捗率				実績値	—	—	—	%
県費					目標値	—	—	100	%
					実績値				
					目標値				
					実績値				
その他					目標値				
0 千円					目標値				

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果						
	473 千円	イラストカーテン及び子ども向けリーフレットの制作により、地域住民や子どもたちの旧中埜家住宅に関する認知度や理解の向上を図ることができました。						
		成果指標						
						令和3年度	単位	
		展示製作委託の進捗率				実績値	100	%
						目標値	100	%
						実績値		
						目標値		
						実績値		
						目標値		

C 課題の整理	事業の評価・課題	B 令和3年度は、旧中埜家住宅のさらなる活用の一つとして外観を活かした活用を行うため、当住宅の歴史を伝えるイラストカーテン及び子ども向けリーフレットのデータ制作を行いました。地域住民に歴史ある建物であることの認知度向上が図られたとともに、子どもから大人まで、当住宅の歴史をわかりやすく伝えることができるようになりました。 本事業の課題として、当住宅は、様々な制約により、多人数の受け入れや長期間の公開が困難であり、公開時期が限られますが、地域住民や子どもたちに対して、認知度や関心を高める必要があります。					

A 今後課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 重要文化財旧中埜家住宅の後世への継承という大きな目的を達成するため、今後も「重要文化財旧中埜家住宅における保存活用の基本方針（令和2年3月策定）」をもとに、建物の保存に必要な修理と整備、さらなる活用のために必要な整備を行っていきます。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	削減余地	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用